

MAP 会場のご案内



関連会場全体図

注) みなとぴあには重文・旧新潟税関庁舎、旧第四銀行住吉町支店、新潟市歴史博物館があります



公式サイトはこちら



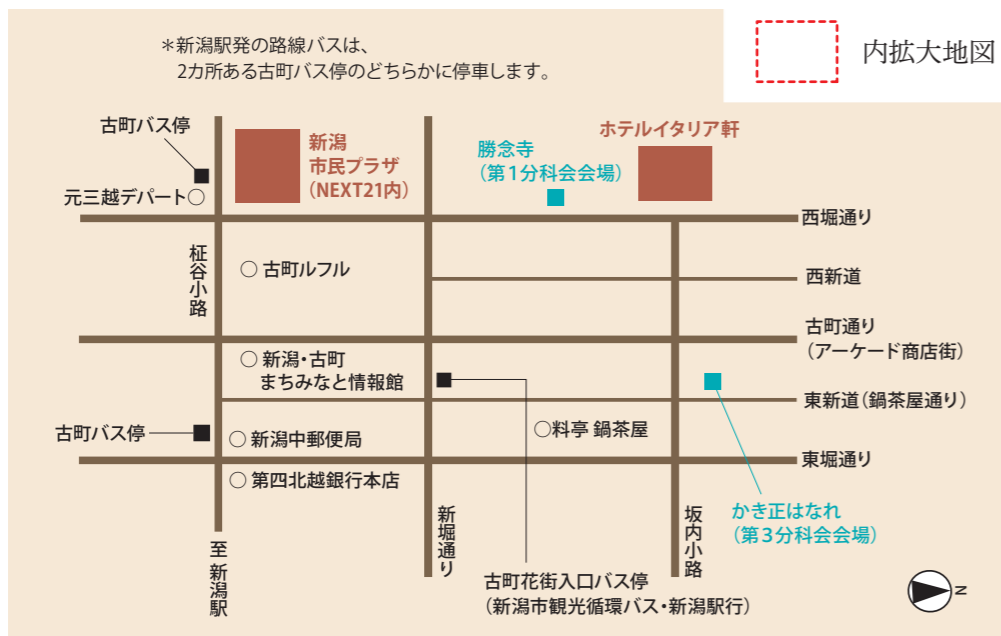
ホテルイタリア軒の場所はこちら



新潟市民プラザの場所はこちら



小林春規「蒲鉾屋」(下町の丁字型町屋) 2000年、木版画、21.5×28.5cm



*新潟駅発の路線バスは、2カ所ある古町バス停のどちらかに停車します。

内拡大地図

第45回 } 市民の活動でつなげる歴史まちづくり
 ~みなとまち新潟から考える~
全国町並みゼミ
新潟市大会
 会場 新潟市民プラザ
 ホテルイタリア軒

2022年 6月10日[金]・11日[土] プレイベント
 6月11日[土] 分科会 | 地域別ブロック会議 | 交流会
 6月12日[日] 全体会
 6月12日[日] 全体会後に新潟県、新潟県まちなみネットワーク主催によるフォーラム
 6月13日[月] オプションバスツアー

関連イベントのお知らせ

■ 砂丘館



webサイトはこちら

新潟の肖像
1955-70
斎藤應志展

■ 新潟市歴史博物館



webサイトはこちら

にいがた
近代建築
パネル展

■ 画廊イタリア軒



webサイトはこちら

星伸二展
奈良の
町屋を描く

「第45回全国町並みゼミ新潟市大会 プログラム」
 令和4年6月11日発行
 発行：第45回全国町並みゼミ新潟市大会実行委員会
 デザイン・編集・印刷：カメガイアートデザイン

全国町並みゼミ新潟市大会



大会趣旨

長い歴史をもつ「全国町並みゼミ」がはじめて新潟市で開催されます。

「新潟」と「沼垂(ぬったり)」は中世以前に起源をもつ湊(港)町です。在郷町等を起源とする自治体と合併し、政令市となりました。ふたつの港町をつなぐ萬代橋をはじめ、国の文化財となっている建築、庭園などが残されているのは第二次大戦の被害をほとんど受けなかったからです。大火、地震などの災害はありましたが、近世の姿を受け継ぐ町屋やお屋敷なども散在し、料亭中心の現役花街が歴史的姿を残す古町も近年注目されています。

堀の埋め立てが語るように、新潟市は時代の変化への対応を優先させ、歴史に根ざす個性の魅力を失いかけてきましたが、2000年代になると水辺、堀、寺町、町屋、近代建築、歴史ある商店街などから将来を考える市民運動が次々に生まれました。

本大会では市民による歴史まちづくりへの取り組みと新潟の現状を全国のまちづくり関係者に伝えるとともに、地域の歴史への関心をさらに深め、歴史まちづくりへの展望をひらく場としたいと思います。

ご挨拶



第45回全国町並みゼミ新潟市大会実行委員長 大倉宏

この町にはなにもないという夢から 覚めるために

全国町並みゼミ第6回大会が開かれた年に移り住んだ新潟は、落ち着いた雰囲気
の古い建物が町中に残る都市でした。ところが、それらが8-90年代に次々消えてい
くことに驚き、建築の保存運動をすることになります。同じころ県内の村上では武

家屋敷に加えて町屋に注目した活動が始動し、1997年には町並みゼミ第20回大会が開かれましたが、新潟市に余波は伝わりませんでした。世紀が変わりほどなく町屋、寺町、堀割、萬代橋など港町の歴史と過去に目を向け将来を考えようとするいくつかの市民活動が生まれました。行政も歩調を合わせ、歴史的建物のいくつかを公有化、公開するようになりましたが、古い建物の取り壊しは続き、「歴史まちづくり」への本格的取り組みは、未だこの町では胎動期です。この新潟市ゼミが2000年代の市民活動の生み出した成果を各地の方々に見ていただく場となるとともに、ここには何も無いという夢を見続ける町の長い眠りを揺らし覚ます力となることを切に願います。



NPO法人全国町並み保存連盟理事長 福川裕一

第45回全国町並みゼミ新潟市大会は、古くから湊町として栄え、今や人口80万人を擁する県庁所在都市・新潟のまちなかが舞台です。歴史的町並みというと、重要伝統的建造物群保存地区に典型的な、伝統的な建物が集中的に軒を並べる地区を思い浮かべます。しかし、新潟のまちなかでは、そのような箇所はだいぶ少なくなっています。にもかかわらず、昔から位置の変わらない商店街、埋め立てられ今は道になった川や堀の跡、お屋敷の並ぶ地区、芸者さんが活躍する花街、そして鉄道の跡などをたどると、往時の賑わいに思いを馳せるだけでなく、それらの歴史を生かした町づくりに想像力が掻き立てられます。現に、新潟まちなかでは、点在する歴史的建物を改修し活用する確かな動きが始まっています。重伝建地区だけでは歴史的町並みの保存は全うされない。歴史的に形成されてきた都市全域で「歴史まちづくり」を展開する必要があります。本大会では、新潟のまちなかに学び、わが国の歴史まちづくりへの展望をしっかりと切り開きたいと思えます。

このような場所と機会を用意していただいた、新潟まち遺産の会をはじめ、新潟市の皆さんに深く感謝します。



新潟市長 中原八一

第45回全国町並みゼミが本市で開催されることをお祝い申し上げます。また、開催にあたり実行委員会及び全国町並み保存連盟などの皆様のご尽力に感謝申し上げます。

本市は、江戸時代、北前船の最大の寄港地となるなど、湊町として繁栄してきました。現在、みなとまち新潟を象徴する信濃川と萬代橋を中心に新潟駅から古町地区を繋ぐ都心エリアを「にいがた2km」と名付け、緑あふれ、人・モノ・情報が行き交う

活力あるエリアへと発展させ、その活力を本市全体の勢いに繋げることで、未来に向けたまちづくりを進めています。

また、この一環として新潟の歴史と文化、暮らしの原点とも言えるこのエリアの各所に残る歴史的な町並みの保存などについても、官民連携で取り組むことで、新潟の魅力や価値を一層高めてまいります。

結びに、本大会が皆様にとって実り多きものとなり、全国の町並み保存の取り組みが一層発展することを祈念し、挨拶とさせていただきます。

後援団体

新潟県／新潟市／新潟県まちなみネットワーク／国土交通省／農林水産省／観光庁／公益財団法人日本ナショナルトラスト／公益財団法人文化財建造物保存技術協会／公益社団法人全国国宝重要文化財所有者連盟／一般社団法人日本建築学会／公益社団法人日本都市計画学会／公益社団法人土木学会／公益社団法人造園学会／公益社団法人日本ナショナル・トラスト協会／公益社団法人日本建築士会連合会／全国伝統的建造物群保存地区協議会／歴史的景観都市協議会／一般社団法人日本イコモス国内委員会／公益社団法人日本ユネスコ協会連盟／公益社団法人日本建築家協会

※以上申請中を含む



新潟市の町並みと歴史まちづくり

01 新潟湊の歴史

新潟の地名は中世から文書に現れます。近世初期には、長岡藩の外港として新潟町が整備されます。鶴岡藩の酒田、弘前藩の青森などと共に、港町のひとつの類型を形成しています。当初は現在より砂丘側の寄居町付近にあったとされますが詳細は不明です。信濃川の土砂堆積等により、1655年に現在地(中央区古町地区周辺)に移転しました。碁盤目状の街区に短冊状の敷地が整然と並ぶ近世的な「町空間」が卓越し、運河としての掘割が張り巡らされ、近世都市の到達点のひとつと言われています。堀には柳の並木が植えられていたことから、新潟を柳都(りゅうと)とも呼びます。

国体が開催された1964年までに堀は全て埋められましたが、都市構造は残りました。幕末には天領となり、開港5都市に選ばれました。新潟は京都、金沢と並んで、この規模の都市としては珍しく壊滅的な戦災を受けていません。そのため、市街地中心部にも多数の歴史的建造物が残存します。



重文・新潟県議会旧議事堂(新潟県政記念館)



重文・旧新潟税関庁舎



重文・旧笹川家住宅(南区味方)

03 市内の歴史的町並み

白山神社境内に1873年に開設された白山公園は国の名勝です。門前の上古町(かみふるまち、第5分科会場)には、アーケードの商店街に町屋が残っています。近世湊町の中央に位置する古町花街(ふるまちかがい、第3分科会場)は、全国随一の伝統的料亭街です。明治以降に港湾地区の市街地が拡大された下町(しもまち、第2分科会場)には、新潟の花形産業だった廻船問屋の唯一の遺構で、丁字型町屋の旧小澤家住宅があり、市指定文化財となっています。また一帯は景観計画区域の特別区域に指定されています。明治以降に砂丘を開発したお屋敷町の西大畑・旭町地区(第4分科会場)には、砂丘館や近代和風建築の旧齋藤家別邸(国名勝)があり、この一帯も特別区域です。和洋折衷・洋風建築も多く残っています。沼垂(第6分科会場)は新発田藩の外港で、古代淳足柵(ぬたりのさく)の所在地とも言われています。新潟町とともに近代新潟の中核をなし、醸造の町でもあります。

市内では亀田、白根、小須戸、曽根、赤塚、巻などの在郷町や、石油産業遺産(国史跡)が残る新津のほか、袋津、越前浜、福井などの農村集落にも歴史的環境が残っています。岩室は新潟の奥座敷と呼ばれる温泉街です。オプションルツアーでは、これらを巡ります。

02 文化財建造物と町屋

白山神社の拝殿は18世紀前半に建て替えられたとされています。近隣にある愛宕神社の本殿・拝殿も18世紀前半の建築として市指定文化財となっています。擬洋風建築として有名な旧新潟税関庁舎は、唯一現存する開港当時の税関庁舎として、重要文化財(以下、重文)に指定されています。同じく重文指定を受けている新潟県議会旧議事堂は、府県会開設期の議事堂として唯一、当初の敷地に現存するものです。萬代橋は、現役の国道橋梁として全国に2つしかない重文です。

新潟大学の調査では、旧新潟町の範囲に約1,000棟の町屋が残されていました。新潟の町屋は、表が平入、奥が妻入のものが多く(表紙の版画を参照)、ミセの次に座敷が配置されます。特に名称は無く、新潟まち遺産の会では、便宜上「丁字型町屋」と呼んでいます。また市内には15件の酒蔵が営業しており、歴史的建造物を有する所も少なくありません。農村部には旧笹川家等の豪農の館も点在します。

04 建築保存から歴史まちづくりへ

新潟まち遺産の会は2004年、歴史的建造物やそれにつながる有形無形の事物事象を「まち遺産」ととらえ、その価値を市民に伝える活動をおこなう団体として誕生しました。

前段階には1990年代～2000年代初期の新潟市公会堂の保存を考える動きや、第四銀行住吉町支店や町屋の保存運動などがありました。銀行は移築復原され、町屋は募金で解体されましたが、再建はならず、市民や行政の意識の壁にもつきあたたったことが教訓となりました。2005年には売却が検討されていた新潟県副知事公舎の保存を複数団体で要望し、活用が実現しました。2008年にさらに広くさまざまな市民、団体と共同で行った旧齋藤家別邸保存運動では、署名活動、庭園公開、市議会への請願などが実をむすび別邸は公有化されました。

町並みゼミに会として初参加の鹿島・嬉野大会(2014年)で報告したモダニズム建築「旧會津八一記念館」は現在民営のNSG美術館となっています。新潟町屋を活用した店舗や、西大畑周辺の歴史的建造物、古町の花街建築などを紹介するマップを発行し、全国的にも貴重な古町花街の建築保全には特に力を注いできました。合併により広域化した市内各地区のまちづくり団体とも連携し、「歴史まちづくり法」を活用した本格的な新潟市全域での歴史まちづくりを促す「新潟歴史まちづくり推進協議会」が2019年に発足しました。

これより先の2006年には新潟県まちなみネットワークが結成されました(下記参照)。この団体が、毎年、新潟県と協力して開催しているのが、今回ゼミの2日目午後開催される「にいがた美しいまちなみフォーラム」で、ネットワーク大会との同時開催になっています。



洋風建築のカトリック新潟教会(西大畑)



旧日本銀行新潟支店長役宅「砂丘館」(西大畑)



洋館付き和風住宅の旧新潟市長公舎「安吾風の館」(西大畑)



洋館付き和風住宅の旧新潟県副知事公舎(西大畑)



在郷町白根の町並み(南区)

〈参考文献〉

- ・高橋康夫 他 編集(1993)「図説日本都市史」:東京大学出版会
- ・藤村誠 著(2014)「新装版 新潟の花街 古町芸妓物語」:新潟日報事業社
- ・諫山正 他 監修(2018)「みなとまち新潟の社会史」:新潟日報事業社
- ・西村幸夫 著(2018)「県都物語 47都心空間の近代をあるく」:有斐閣
- ・岡本哲志 著(2010)「港町のかたち その形成と変容」:法政大学出版局

新潟県まちなみネットワーク会員団体(70団体)

《上越》糸魚川レンタカー保存・活用研究会/直江津プライド2021/上越市南本町三丁目まちづくり協議会/越後高田・雁木ねっとわーく/浄興寺大門通りまちづくり協議会/高田寺町まちづくり協議会/NEO浄興寺プロジェクト/(一社)雁木のまち再生/NPO法人街なみFocus/NPO法人高田警女の文化を保存・発信する会/NPO法人街なか映画館再生委員会

《中越》湯之谷温泉郷・尾瀬ルート活性化委員会/裸押合大祭記録保存実行委員会/つむぎ通り町づくり懇談会/牧之通り組合/赤レンガ棟を愛する会/長岡観光コンベンション協会/子どもたちのための古民家再生委員会/出雲崎妻入りの街並景観推進協議会/三条まちづかいの会/燕三条プライドプロジェクトツーリズムグループ

《下越》小俣ふるさと楽校/越後・むらかみ・城下町まちなみの会/村上ライあんぐる/村上町屋商人会/チーム黒壁プロジェクト/塩谷活性化推進協議会/新発田まち遺産の会/城下町新発田まちづくり協議会/つがわ狐の嫁入り行列実行委員会/五十嵐邸ガーデン/環翠楼/新潟まち遺産の会/にいがた寺町からの会/NPO法人堀割再生まちづくり新潟/まちなかの文学を歩く会/roji-ren niigata/古町花街の会/旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会/発酵食品の街・沼垂/NPO法人いわむろや/しろね町屋あるき研究会/新潟市景観ネットワーク

《佐渡》佐渡まちなみネットワーク(相川ふれあいガイド/相川まちづくり実行委員会/相川みちるべ/岩首柵田 とき共生みらい/NPO法人相川京町町並み保存センター/上相川を守る会/京町通りを守る会/NPO法人佐渡の歴史と景観を守る会/NPO法人みなと昭和館/小木ふれあいガイド/小木湊まちなみの輪/風待ちの会/笹川の景観を守る会/佐渡金銀山古道を守る会/佐渡国しま海道/佐渡を世界遺産にする会/沢根元氣プロジェクト/宿根木を愛する会/町人文化の街おぎ振興組合/鶴子銀山へ続く道を歩こう/七浦社中/新穂銀山友の会/白山丸友の会/望楼のある港景観を守る会/松夢会)

《その他》新潟県観光カルスマ会議/にいがた庭園街道ネットワーク



6月11日[土] 10:00~12:00 受付場所：ホテルイタリア軒

- 受付をしていただいた後、各分科会のまちあるき集合場所に12:30までにお集り下さい。受付場所とまちあるき集合場所は異なりますのでご注意ください。
- 早めの受付をお願いします。(まちあるき集合場所や昼食会場への移動に時間がかかりますので第2・3・4・5・6分科会は11:30までの受付をお願いします。)

6月12日[日] 8:30~ 受付場所：新潟市民プラザ(NEXT21 6階)

12日からご参加の方は受付をお願いします。

- 11日に受付をされた方はお配りした名札のご提示で入場いただけます。

イベント

① リレートーク「全国町並み保存連盟・全国町並みゼミと私」

日時 | 6月10日[金] 16:00-17:30 全国町並み保存連盟の理事、会員が44年の歴史をふりかえり、語ります。
 会場 | 砂丘館<旧日本銀行新潟支店長役宅> *YouTube同時配信を予定

② 堀川久子「空間を舞う」

日時 | 6月11日[土] 10:00-11:00 堀川久子/場所、空気、気配を身体に取り込みながら即興で踊るダンサー。新潟市を拠点にヨーロッパでも活動を続ける。
 会場 | 北方文化博物館新潟分館

*北方文化博物館新潟分館の入館料(450円)が必要です。
 なお、第4分科会にご参加の方はその旨を入館の際、受付にお申し出ください。

オプションバスツアー

日時 | 6月13日[月] 9:00-17:30
 出発 | ホテルイタリア軒 解散 | 新潟駅

ツアー行程

- ◆ホテルイタリア軒
- ↓
- ◆袋津[砂丘列上の迷路の農村集落] 江南区
- ↓
- ◆北方文化博物館[豪農の館伊藤邸] 江南区
- ↓
- ◆在郷町小須戸の町並み 秋葉区
- ↓
- ◆在郷町白根の町並み 南区
- ↓
- ◆岩室温泉の町並み 西蒲区
- ↓
- ◆赤塚中原邸[豪農の館] 西区
- ↓
- ◆新潟駅

新潟市は2005年に近隣13市町村と合併し、8区を擁する政令市になりました。このツアーでは新市域の在郷町や村落を巡ります。



分科会

6月11日[土] 12:30-17:30

港町と水辺のまちづくり

第1分科会

まちあるき集合場所 / 勝念寺

信濃川の内陸水運と、日本海航路が結ばれる新潟湊は、江戸期初めに堀割が縦横にはしるように造られた碁盤目状の町である。廻船問屋や宿屋、商店がならぶ整然とした町割には、旅人をもてなす花街、人心をささえる寺町もあった。今でも日和山が残る。現在、堀が消え、町並みは大きく変化し、湊町の記憶が薄れたように見えるが、産業文化での交流や食との出会いを求めて、人々が往来する新潟は今もまぎれもない港町である。湊町から港町へと受け継がれるDNAを生かし、これからの新潟にふさわしい町並みを考える機会としたい。



担当団体：NPO法人堀割再生まちづくり新潟
 古町商店街の若手メンバーが、かつての堀割を再生し、街の活性化に役立てることを目指して、2000年に誕生した市民団体。



分科会会場/勝念寺
 越前城主朝倉敏景の重臣が蓮如に帰依して開いた真宗寺院。加賀(石川県)今湊から1618年に新潟に移転した。ご住職は今も今湊姓。

コーディネーター

大森洋子<久留米工業大学 教授、全国町並み保存連盟 理事>

コメンテーター

岡本哲志<岡本哲志都市建築研究所 代表>

パネラー

小笠原真結美<小樽運河新世紀フォーラム 副会長、小樽商工会議所女性会 会長>

磯田一裕<直江津プライド2021 代表>

川上伸一<堀割再生まちづくり新潟 代表理事>

住民による町並み保全制度の選択

第2分科会

昼食会場・まちあるき集合場所 / 魚や片桐寅吉

登録文化財、景観重要建造物など個々の歴史的建造物の保存に関わる制度、景観計画の特別区域指定や協定締結など町並みの保全に関わる制度。様々な制度を住民が議論しながら取捨選択している下町の旧小澤家住宅周辺を舞台に、制度選択の考え方や行政・大学との協働方法などを議論し、将来の町並み保存の戦略を検討したい。この分科会では、「魚や片桐寅吉」にて昼食をお召し上がりいただく。



分科会会場/
 北前船の時代館
 新潟市文化財
 旧小澤家住宅
 元廻船問屋の町屋建築。2002年に新潟市へ寄贈後、市指定文化財として公開中。

コーディネーター

松井大輔<新潟大学 准教授>

コメンテーター

村上佳代<文化庁地域文化創生本部 文化財調査官>

パネラー

梅宮路子<公益財団法人日本ナショナルトラスト 事業課長>

清水徹<アトリエ縁 代表/>

一般社団法人佐渡ヘリテージ協議会 監事)

高須雅史<旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会 事務局長>



担当団体：旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会
 旧小澤家住宅など湊町新潟の風情が残る歴史的市街地において、歴史を活かしたまちづくりを展開する。

花街のまちづくりと文化的景観

第3分科会

昼食会場・まちあるき集合場所 / 料亭 かき正

花街は、舞踊や邦楽、着物、書画骨董、茶道、会席・郷土料理、方言、建築、庭園、路地など、日本の、そして地域固有の有形無形の伝統文化を包括的に継承する稀有な空間と言える。全国随一の伝統的料亭街・古町花街には、こうした様々な伝統文化を支えてきた料亭や芸妓の生活文化と、それにより形成された歴史的景観がともに現在に継承されている。

本分科会では、古町花街を舞台に花街の文化的景観としての価値や今後の保全手法について考える。この分科会では、料亭「かき正」にて昼食をお召し上がりいただく。



担当団体：古町花街の会
全国随一の伝統的料亭街・古町花街において、歴史的町並みの保全や伝統文化の継承活動を行っている。



分科会会場 / 料亭 かき正 はなれ
1929年創業。戦前の建築で3階は戦後に増築。かつて高浜虚子らの句会も開かれた。

コーディネーター

麻生美希<同志社女子大学 准教授>

コメンテーター

川上光彦<金沢職人大学校 理事長・学校長、NPO法人金澤町家研究会 理事長>

パネラー

神戸啓<先斗町まちづくり協議会 副会長・事務局長、うさぎのアトリエびよんびよん 店主>
久保有朋<旧齋藤家別邸 学芸員、古町花街の会 事務局>
あおい<古町芸妓・置屋「津乃」>

歴史的環境と芸術文化

第4分科会

まちあるき集合場所 / ①砂丘館 ②NSG美術館

近年、美術、音楽、舞踊、演劇などがそれ専用の場所であるホールや美術館でない場所で発表されることが増えてきた。

工場跡、空き校舎、古い民家や町並みなどで制作、発表をあえて行う芸術家も多い。新潟市で2009-18年に開催された「水と土の芸術祭」でも多くの歴史的な建築や場所が会場となった。

芸術表現が歴史的空間を魅力ある光で照らし、歴史的環境が芸術表現に独自の深さと奥行きをあたえるのはなぜなのか。歴史的建築と文化施設が集積し、共存する西大畑旭町で考える。



担当団体：西大畑旭町文化施設協議会(異人池の会)
近代に開発された西大畑旭町界隈にある文化施設が交流し合う会。マップづくり、連携事業等をおこなっている。



分科会会場 / 新潟市美術館 講堂
近代日本を代表する建築家前川國男の最晩年の設計作品。敷地は新潟刑務所跡地。

コーディネーター

大倉宏<美術評論家、全国町並み保存連盟 理事>

コメンテーター

鈴木伸治<横浜市立大学 教授>

パネラー

椎原晶子<たいとう歴史都市研究会 理事長>
吉原悠博<美術家、吉原写真館主、新発田まち遺産の会 副実行委員長>
堀川久子<ダンサー、水と土の芸術祭2012 ディレクター>

門前町の商店街に若者が係わる理由

第5分科会

まちあるき集合場所 / 白山神社

新潟市総鎮守である白山神社の門前町として栄え、又町屋も多く残る上古町商店街。
上古町の個性でもある門前町という切り口とまちの変遷に影響を及ぼした若者の役割といった点から歴史ある店舗側から見る商店街、新たな出店者又は外から見える商店街、様々な視点を持ち寄り門前町など歴史ある商店街の変遷と若者の関係などを考える。



担当団体：上古町商店街
白山神社や愛宕神社の門前町として時代を歩み、変わりゆくもの・変わらずにあるものを受け入れ活動を続ける。



分科会会場 / 上古町の百年長屋SAN 2階
商店街で親しまれている築百年の長屋を活用した編集機能を持つ複合施設。

コーディネーター

浅野聡<三重大学教授、國學院大学教授、全国町並み保存連盟 理事>

コメンテーター

中村泰典<NPO法人倉敷町家トラスト 代表理事、全国町並み保存連盟 常任理事>

パネラー

中村出<建築士、(株)ヤマムラ、山形新庄と東京二拠点で歴史的建造物の利活用に取り組む>
金澤李花子<編集者、上古町の百年長屋SAN 副館長>
迫一成<hickory03travelers代表、上古町商店街理事長>

路地のある町をどう安全に、魅力的にしていけるか

第6分科会

まちあるき集合場所 / ほんぽーと(新潟市立中央図書館)

万代島にほど近い信濃川右岸、複雑に路地が廻る天明町界隈には、昭和の風情が各所に残る。インフラ整備が遅れ、海拔ゼロメートル地帯で災害リスクが懸念されるものの、路地へ入り込めば、温かなコミュニティ景観に遭遇する。脱炭素社会が叫ばれる現在、空き家・空地などを含む地域の未利用資源の再生利活用は待ったなしの課題でもある。
路地の町の防災・減災・コミュニティづくり、空き家利活用、地域再生の担い手育成などを考える。まちあるきでは醸造の町、沼垂も巡る。



担当団体：T-Base-Life
「地域の課題を魅力に変換させる」をテーマに、地域の空地・空家などの再生・利活用提案に取り組んでいる。



分科会会場 / 流作場鎮守 三社神社
1747年に開祖安倍玄的が地域開拓の安全成功を祈念し、祠を祀り玄的の村を形成したことに始まる。

コーディネーター

渡辺斉<新潟県建築士会 顧問>

コメンテーター

北島力<NPO法人まちづくりネット八女 理事長、全国町並み保存連盟 副理事長>

パネラー

後藤大輝<すみだ向島EXPO代表>
関谷浩史<新潟県立大学 准教授>
天本浩未<株式会社T-Base-Life 代表取締役社長>

地域別ブロック会議 & 交流会 (着席・弁当)

地域別ブロックは①北海道・東北、②関東、③北陸・甲信越、④東海、⑤関西、⑥中国・四国、⑦九州・沖縄の7ブロックからなります。地域別ブロック会議は小グループの話し合いで、全員が発言できる場です。町並みゼミ開催地や決議文なども議論します。

日時 | 6月11日[土] 18:30-21:00 会場 | ホテルイタリア軒

日本の各地域ごとに分かれての着席・弁当による食事と意見交換(地域別ブロック会議)のあと、参加者同士の交流の時間となります。

〈会場について〉

1874年に曲馬団のコックとして来日したイタリア人が病気で日本に取り残された時、当時の県令の援助により牛肉店を開き、その後西洋料理店として人気を集め「新潟の鹿鳴館」と呼ばれるように。1976年から現在の名称・ホテルイタリア軒となりました。

全体会

日時 | 6月12日[日] 9:00-12:45 (開場8:30)

※2日目のみの方:受付開始 8:30

会場 | 新潟市民プラザ

内容 | 古町芸妓の舞/
新潟市の町並みと歴史まちづくり/
各地からの報告/分科会報告/
峯山富美賞贈呈式/等



斎藤應志「市役所に見える西堀」1958年 油彩、板 17.0×22.6cm

市民プラザが入居する複合施設NEXT21の敷地には、もともと西堀に面して市役所が建っていました。この場所は長岡藩(幕末は天領)の奉行所があったところです。

古町芸妓について

新潟市の古町花街には、日本舞踊「市山流」や唄・三味線などの伝統技芸を修め、料亭などのお座敷で伝統的なおもてなしを行う「古町芸妓」がいます。昭和初期には300人を超えたといわれ、現在も約25名が活動しています。この内、およそ半数の若手芸妓が柳都振興株式会社に社員として所属し、「柳都さん」と呼ばれています。今回は「四季の新潟」「新潟おけさ」「新潟小唄」の三曲を披露していただきます。

※昼食について: 事前に予約してある方は、全体会および午後のフォーラム会場と同じ建物(NEXT21)の16階にあり、市内を展望できるレストラン「禅(ZEN)」にお越しください。当日は営業している食堂が周辺に少ないため、ご注意ください。

同日開催フォーラム

新潟県・新潟県まちなみネットワーク主催

にいがた美しいまちなみフォーラム2022 + 第16回 新潟県まちなみネットワーク新潟市大会

日時 | 6月12日[日] 14:00-17:15

会場 | 新潟市民プラザ

基調講演

「港町・新潟の価値と可能性
〜川と海の結節点に描かれた都市空間の履歴〜」
岡本哲志氏(岡本哲志都市建築研究所 代表)

パネルディスカッション

「歴史を活かしたまちづくり」
西村幸夫氏(國學院大學教授/全国町並み保存連盟常任理事)
岡本哲志氏(基調講演講師)
駒木定正氏(北海道職業能力開発大学校特別顧問)
中野奈美子氏(風待ちの会世話人代表)
野内隆裕氏(路地連新潟代表/日和山五合目館長)

全国町並みゼミ 過去の開催地

2021 第44回 奈良大会(ハイブリッド)	2010 第33回 盛岡大会	1999 第22回 臼杵大会	1988 第11回 竹富大会
2020 第43回 桜川真壁大会(オンライン)	2009 第32回 佐原・成田大会	1998 第21回 東京大会	1987 第10回 松阪大会
2019 第42回 川越大会	2008 第31回 卯之町大会	1997 第20回 村上大会	1986 第9回 会津大会
2018 第41回 長野松代・善光寺大会	2007 第30回 伊勢大会	1996 第19回 犬山大会	1985 第8回 龍野大会
2017 第40回 名古屋有松大会	2006 第29回 八女福島大会	1995 第18回 妻籠大会	1984 第7回 大平大会
2016 第39回 大内・前沢大会	2005 第28回 美濃大会	1994 第17回 須坂大会	1983 第6回 臼杵大会
2015 第38回 豊岡大会	2004 第27回 大聖寺大会	1993 第16回 川越大会	1982 第5回 東京大会
2014 第37回 鹿島・嬉野大会	2003 第26回 今井大会	1992 第15回 吉井大会	1981 第4回 琴平大会
2013 第36回 倉敷大会	2002 第25回 鞆の浦大会	1991 第14回 角館大会	1980 第3回 小樽・函館大会
2012 第35回 福岡大会	2001 第24回 小樽大会	1990 第13回 京都大会	1979 第2回 近江八幡大会
2011 第34回 飛騨市大会	2000 第23回 日南大会	1989 第12回 栃木大会	1978 第1回 有松・足助大会

全国町並み保存連盟 加盟団体 (北陸・甲信越ブロックのみ)

- 1 新潟まち遺産の会(新潟県新潟市)
- 2 越後村上・城下町まちなみの会+むらかみ町屋再生プロジェクト(新潟県村上市)
- 3 NPO法人歴町センター大聖寺(石川県加賀市)
- 4 若狭熊川宿まちづくり特別委員会(福井県若狭町)
- 5 公益財団法人妻籠を愛する会(長野県南木曾町)
- 6 NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会(長野県長野市)
- 7 NPO法人小諸町並み研究会(長野県小諸市)

実行委員会名簿

※印: 新潟まち遺産の会世話人 (株式会社、NPO法人、社団、財団など団体の法人名は略しました) 五十音順

天本浩未 (T-Base-Life)	関由有子 (新潟県まちなみネットワーク)
伊藤純一※(日本建築家協会関東甲信越支部新潟地域会)	瀬戸智 (新潟県建築士会ヘリテージマネージャー特別委員会)
石田高浩 (小須戸ARTプロジェクト実行委員会)	高須雅史 (旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会)
伊里浩 (北方文化博物館)	高橋覚 (味方地区コミュニティー協議会)
大倉宏※(西大畑旭町文化施設協議会(異人池の会)、新潟歴史まちづくり推進協議会、新潟県まちなみネットワーク、全国町並み保存連盟)	徳永健一 (郷土の文化に親しむ会)
岡崎篤行※(新潟大学、古町花街の会、新潟歴史まちづくり推進協議会、新潟県まちなみネットワーク、全国町並み保存連盟)	野内隆裕 (路地連新潟)
小倉壮平 (にしかん PROJECT(仮) 実行委員会)	長谷川順一※(日本民家再生協会、建物修復支援ネットワーク)
小澤櫻子 (旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会)	平原悟 (にいがた庭園街道ネットワーク)
金親顕男 (古町花街の会)	前川周作 (古町花街エアプラットフォーム)
上山寛 (かめだ学会)	松井大輔※(新潟大学、旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会)
川上伸一 (堀割再生まちづくり新潟)	山本玲子 (全国町並み保存連盟)
神田剛 (新潟シティガイド)	渡辺斉 (新潟県建築士会)
久保有朋※(古町花街の会、古町花街地区防災会)	
迫一成 (新潟市上古町商店街振興組合)	
清野拳斗 (新潟商工会議所)	
	〈実行委員会役員、事務局(前掲以外)〉
	委員長: 大倉宏
	副委員長: 小澤櫻子、金親顕男、岡崎篤行
	監査委員: 徳永健一、澤村明※
	事務局長: 伊藤純一
	会計: 千早和子※
	名簿: 大倉則子
	編集: 宮島悠夏